

中国語における場所句の位置と機能

1LT16031E 井上恵利佳

1. はじめに

中国語の場所句については様々な観察や分析があるが、それらの先行研究には記述不足なども少なくはない。そこで、卒論では場所句に関して3つの問題に取り組み、先行研究とは異なる観察や新しい分析を提案した。

2. 問題 I (4つの動詞タイプの特徴)

中国語の場所句は、前置詞(介詞)‘在’を主要部とする。場所句の典型的な出現位置は(1a)の pre-verbal 位置であり、(1b)の post-verbal 位置への出現はあまり見られない¹。

(1) a. pre-verbal

ta zai shitang li chi fan.
[NP1 他] [PP 在 食堂 里] [V 吃] [NP2 饭]。
彼 で 食堂 中 食べる ご飯
「彼は食堂でご飯を食べる。」

b. post-verbal

*ta chi fan zai shitang li.
*[NP1 他] [V 吃] [NP2 饭] [PP 在 食堂 里]。
彼 食べる ご飯 で 食堂 中

しかし、(2)のように pre-verbal 位置と post-verbal 位置の両方で場所句が容認される場合もある。

(2) a. pre-verbal

ta zai zhuozi shang tiao.
[NP 她/ 他] [PP 在 桌子 上] [V 跳]。
彼女/ 彼 で 机 上 ジャンプする
「彼女/ 彼は机の上でジャンプしている。」

[Li & Thompson 1981: 399, (29a)]

¹ なお、場所句以外の中国語の副詞類は、pre-verbal 位置への出現が主であり、post-verbal 位置への出現は原則的に容認されない。

b. post-verbal

ta tiao zai zhuozi shang.
 [NP 她/ 他] [v 跳] [PP 在 桌子 上]。
 彼女/ 彼 ジャンプする に 机 上
 「彼女/ 彼は机の上に（向かって）ジャンプした。」

[Li & Thompson 1981: 399, (29b)]

よって、(3) のような問題が浮上する。

(3) 問題 I :

なぜ場所句は pre-verbal 位置と post-verbal 位置の両方で容認される場合があるのか？

Li & Thompson (1981) によると、ほぼどんな出来事や状態も場所を持ち得るので、ほとんどの動詞は pre-verbal 場所句を容認する。一方、post-verbal 場所句を容認するのは (4) の 4 タイプに限られると述べている。

(4) Li & Thompson (1981) による post-verbal 場所句を容認し得る 4 つの動詞タイプ

- a. 移動の動詞 (Verbs of Displacement : 以下 Vdi)
 跳 (jump) 、推 (push) 、掉 (drop, fall) 、倒 (fall)
- b. 位置の動詞 (Verbs of Posture : 以下 Vpo)
 站 (stand) 、睡 (sleep) 、躺 (lie down) 、坐 (sit)
- c. 出現の動詞 (Verbs of Appearing : 以下 Vap)
 发生 (happen, occur) 、出現 (appear) 、生长 (grow up) 、消失 (disappear)
- d. 配置の動詞 (Verbs of Placement : 以下 Vpl)
 种 (plant) 、画 (draw, paint) 、藏 (hide) 、写 (write)

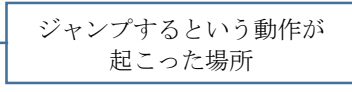
ここで注目したいのは、pre-verbal 場所句と post-verbal 場所句とでは機能が違うということである。(4) の動詞は、単なる動作を描写する「動作動詞 (A)」と、動作の結果としての状態を指定する「結果状態を指定する動詞 (R)」になる場合がある。

(5) a. 動作動詞 (A)

機能：出来事が起こった一般的な場所を指定する

文成分：付加詞

pre-verbal
 ta zai zhuozi shang tiao.
 [NP 她/ 他] [PP 在 桌子 上] [v 跳]。
 彼女/ 彼 で 机 上 ジャンプする



「彼女/ 彼は机の上でジャンプしている。」

[Li & Thompson 1981: 399, (29a)]

b. 結果状態を指定する動詞 (R)

機能：動作の結果としての主語または直接目的語の場所を指定する

文成分：補語

post-verbal

ta tiao zai zhuozi shang.
[NP 她/ 他] [v 跳] [PP 在 桌子 上].
彼女/ 彼 ジャンプする に 机 上

ジャンプするという動作の結果
としての彼女/彼の場所

「彼女/ 彼は机の上に（向かって）ジャンプした。」

[Li & Thompson 1981: 399, (29b)]

卒論では、(6) を主張した。

(6) 主張 I (i) :

Vdi、Vpo、Vap、Vpl はそれぞれ動作動詞 (A) になる場合と結果状態を指定する動詞 (R) になる場合があり、(A) と共起する場所句は付加詞、(R) と共起する場所句は補語である。

主張 I (ii) :

post-verbal 位置に現れる場所句は補語である。

次に、2つ目の問題に取り組む。

3. 問題 II (配置の動詞 (Vpl) と共起する場所句の機能的な特殊性)

Li & Thompson (1981) の述べた post-verbal 場所句と共起し得る動詞タイプのうち、Vdi、Vpo、Vap と共起する場所句の機能を要約すると、(7) になる。

(7) Vdi、Vpo、Vap の場合 :

- a. pre-verbal 場所句：付加詞（出来事が起こった一般的な場所を指定する）
- b. post-verbal 場所句：補語（動作の結果としての主語／直接目的語の場所を指定する）

しかし、(8) の例文を見ると、Vpl のみ特殊な働きをすることが分かる。

(8) a. Vpl、pre-verbal

wo zai jiaoshi li huale jige yuanquan.
[NP1 我] [PP 在 教室 里] [V 画了] [NP2 几个 圆圈]。
私 で 教室 中 描いた いくつかの 円
「私は教室でいくつかの円を描いた。」

描くという出来事が起こった場所

b. Vpl、pre-verbal

wo zai bijiben shang huale jige yuanquan.
[NP1 我] [PP 在 笔记本 上] [V 画了] [NP2 几个 圆圈]。
私 に ノート 上 描いた いくつかの 円
「私はノートにいくつかの円を描いた。」

描くという動作の結果としての円の場所

つまり、Vpl と共起する場所句を (7) と同じように考えることは出来ない。よって、(9) の問題が生じる。

(9) 問題Ⅱ：

なぜ配置の動詞 (Vpl) の場合、pre-verbal 場所句でも動作の結果としての直接目的語の場所を指定できるのか？

Vpl は先述した動作動詞 (A) と結果状態を指定する動詞 (R) になる場合がある。(9) の問題Ⅱに対して、それぞれの動詞を含む文の下位範疇化素性と意味役割、構造に着目し、卒論では (10) を主張した。

(10) 主張Ⅱ：

Vpl と共起する場所句は以下のようになる。

Vpl (A) と共起し付加詞となる場合は pre-verbal 位置にしか出現しないが

Vpl (R) と共起し補語となる場合は pre-verbal 位置と post-verbal 位置に出現し得る。

(10) の主張を以下で詳しく説明する。

(11) a. Vpl (R)、pre-verbal 場所句

ta zai heiban shang xiele jige zi.
[NP1 他] [PP 在 黑板 上] [V 写了] [NP2 几个 字]。
彼 に 黑板 上 書いた いくつかの 字
「彼は黑板にいくつかの字を書いた。」

書くという動作の結果としての字の場所

b. Vpl (R)、post-verbal 場所句

ta xiele jige zi zai heiban shang.
 [NP1 他] [V 写了] [NP2 几个 字] [PP 在 黑板 上]。
 彼 書いた いくつかの 字 に 黑板 上
 「彼は黒板にいくつかの字を書いた。」

書くという動作の結果としての字の場所

(12) a. Vpl (R)

ta zai jiaoshi li zai heiban shang xiele jige zi.
 [NP1 他] [PP 在 教室 里] [PP 在 黑板 上] [V 写了] [NP2 几个 字]。
 彼 で 教室 中 に 黑板 上 書いた いくつかの 字
 「彼は教室で黒板にいくつかの字を書いた。」

付加詞

補語である pre-verbal 場所句

b. Vpl (R)

ta zai jiaoshi li xiele jige zi zai heiban shang.
 [NP1 他] [PP 在 教室 里] [V 写了] [NP2 几个 字] [PP 在 黑板 上]。
 彼 で 教室 中 書いた いくつかの 字 に 黑板 上
 「彼は教室で黒板にいくつかの字を書いた。」

付加詞

補語である post-verbal 場所句

最後に、3つ目の問題に取り組む。

4. 問題III (限界性と制約条件)

他動詞である (R) と共起する post-verbal 場所句は、(13) のように同じ構造でも容認度が異なる場合がある。

(13) a. Vpl (R)、post-verbal 場所句

wo xie jige zi zai heiban shang.
 [NP1 我] [V 写] [NP2 几个 字] [PP 在 黑板 上]。
 私 書く いくつかの 字 に 黑板 上
 「私はいくつかの字を黒板に書く。」

数量詞を含む動詞句

b. Vpl (R)、post-verbal 場所句

*wo xie zi zai heiban shang.
 *[NP1 我] [V 写] [NP2 字] [PP 在 黑板 上]。
 私 書く 字 に 黑板 上

単純目的語を含む動詞句

(14) のような post-verbal 場所句に関する制約条件の問題が生じる。

(14) 問題Ⅲ：

なぜ単純目的語を含む動詞句と共起するとき、post-verbal 場所句は容認されないのか？

卒論では、Liu (2003, 2009) でも言及されている限界性の概念を用いることで、(15) のような post-verbal 場所句に関する制約条件を主張した²。

(15) 主張Ⅲ (post-verbal 場所句に関する制約条件)：

post-verbal 場所句は数量詞を含むことで限界を持つ動詞句と共起されなければ容認されない。

(16)、(17) のような他動詞の例文を見る。

(16) a. Vpl, post-verbal

	wo	zhongle	jike	juhuar	zai	yuanzi	li.
	[NP1 我]	[V 种了]	[NP2 几棵]	菊花儿]	[PP 在	院子	里]。
	私	植えた	いくつかの	菊の花	に	庭	中

「庭に私はいくつかの菊の花を植えた。」

[中原 2006: 129, [1-4]]

b. Vpl, post-verbal

	*wo	zhongle	juhuar	zai	yuanzi	li.
	*[NP1 我]	[V 种了]	[NP2 菊花儿]	[PP 在	院子	里]。
	私	植えた	菊の花	に	庭	中

[中原 2006: 129]

² (15) の制約条件の詳しい説明は以下のとおりである。

(i) 主張Ⅲの説明：

数量詞を含む動詞句は「限界」、単純目的語を含む動詞句は「非限界」を持ち、post-verbal 場所句の「内在する限界を明確にする」という機能を適用できない単純目的語を含む動詞句と共起する post-verbal 場所句は容認されないため。

動詞句が限界を持つかどうかは、期限/ 期間のテストによる結果、及び持続 (durative) のアスペクト マーカー ‘着’ との相性により判断した。さらに、post-verbal 場所句の機能については、Liu (2009) による (ii) のような主張を用いた。

(ii) Liu (2009) における限界動詞と共起する post-verbal 場所句の機能：

"...it [locative phrase] makes specific the boundary of an event which has an inherent but unspecified temporal boundary."

[Liu 2009: 12]

(場所句は、内在するが示されていない一時的な限界を持つ出来事の限界を明確にする)

- (17) a. Vdi, post-verbal
- | | | | | | | | |
|---------|----|--------|-------------|----------|--------------|--------|--------|
| | ta | diule | yixie | lingqian | zai | zhuozi | shang. |
| [NP1 他] | | [V 丢了] | [NP2 一些 零钱] | | [PP 在 桌子 上]。 | | |
| | 彼 | 落とした | いくつかの | 小銭 | に | 机 | 上 |
- 「彼は机の上になんらかの小銭を落とした。」
- 数量詞を含む限界動詞句

- b. Vdi, post-verbal
- | | | | | | | |
|----------|-----|--------|----------|--------------|--------|--------|
| | *ta | diule | lingqian | zai | zhuozi | shang. |
| *[NP1 他] | | [V 丢了] | [NP2 零钱] | [PP 在 桌子 上]。 | | |
| | 彼 | 落とした | 小銭 | に | 机 | 上 |
- 単純目的語を含む非限界動詞句

なお、Vpo、Vap はそもそも自動詞であり、直接目的語を取らないので、(14) の問題Ⅲは関与しない。

5. まとめ

卒論では、中国語における場所句について3つの問題に取り組んだ。

(3) 問題Ⅰ：

なぜ場所句は pre-verbal 位置と post-verbal 位置の両方で容認される場合があるのか？

(6) 主張Ⅰ (i)：

Vdi、Vpo、Vap、Vpl はそれぞれ動作動詞 (A) になる場合と結果状態を指定する動詞 (R) になる場合があり、(A) と共起する場所句は付加詞、(R) と共起する場所句は補語である。

主張Ⅰ (ii)：

post-verbal 位置に現れる場所句は補語である。

(9) 問題Ⅱ：

なぜ配置の動詞 (Vpl) の場合、pre-verbal 場所句でも動作の結果としての直接目的語の場所を指定できるのか？

(10) 主張Ⅱ：

Vpl と共起する場所句は以下のようになる。

Vpl (A) と共起し付加詞となる場合は pre-verbal 位置にしか出現しないが

Vpl (R) と共起し補語となる場合は pre-verbal 位置と post-verbal 位置に出現し得

る。

(14) 問題Ⅲ :

なぜ単純目的語を含む動詞句と共起するとき、post-verbal 場所句は容認されないのか？

(15) 主張Ⅲ (post-verbal 場所句に関する制約条件) :

post-verbal 場所句は数量詞を含むことで限界を持つ動詞句と共起されなければ容認されない。

参考文献

Li, Charles. & Sandra Thompson (1981) *Mandarin Chinese: A Functional Reference Grammar*. Berkeley: University of California Press.

Liu, Feng-hsi (2003) Definite NPs and telicity in Chinese. *Snippets* 7: 13-15.

Liu, Feng-hsi (2009) Aspect and the postverbal zài phrase in Mandarin Chinese. In: Janet Zhiqun Xing (ed.) *Studies of Chinese linguistics: Functional approaches*, 103-129. Hong Kong: Hong Kong University Press.

中原裕貴 (2006) 「介詞《“在” + 場所詞》構造の文中位置と文法機能について」『Lingua (上智大学一般外国語教育センター)』17: 125-141.